

豚の分娩時期繁殖育成成績について

長野 鍊太郎・森 淳  
(九州農業試験場)

NAGANO, R. and MORI, T.  
Effect of Season on Reproductive Performance of the Sow and Offspring

九州では夏期、暑熱の影響を受け、繁殖豚においては繁殖、子豚の育成成績の低下が知られているが、生産者の実態はまだ十分把握されていない。そこでその手がかりを得るため、日本種豚登録協会熊本県支部の産子検定に関する資料を分娩の季別（春，夏，秋，冬別）に整理し、それらの繁殖，育成成績を検討した。

調査材料

調査対象豚は43年11月から47年3月までに分娩した母豚730例，およびそれらの産子8,261頭を対象とした。季別では春分娩したもの182例，夏178例，秋148例，冬222例である。産子検定に関する資料とは、日本種豚登録協会が制定している種雌豚産子検定標準に合格したものであり、いわば選択されたものばかりで、その意味では調査豚はランダムではない。調査項目中、総体重評点，発育の斉度評点などは別に定められた採点基準によって評点されたものであり，発育の斉度は1腹子の標準偏差である。

結果

① 分娩子豚頭数，生産子豚頭数，哺育開始頭数，3

週齢育成率，発育の斉度ならびに発育の斉度評点などについては季別による差はみられなかった。これは検定受検のためには条件があり，調査豚が選択されているためと思われる。

② 3週齢の育成頭数は冬子が最も多く，冬子と夏子および秋子の間に有意差がみられた。

③ 3週齢子豚総体重では夏子が最も小で，冬子が最も大であり，冬子と夏，秋子の間には有意差がみられた。

④ 3週齢の総体重評点は3週齢子豚総体重と同様で夏子が最も劣り，冬子と夏，秋子，また春子と夏，秋子の間に有意差がみられた。

⑤ 3週齢の子豚1頭平均体重では夏子は他のどの季のものより小さく有意差がみられた。

⑥ 総得点，すなわち1腹当たりの子豚の総体重と発育の斉度についての合計点では夏子が最も劣り，冬子と夏，秋子，春子と夏子の間に有意差がみられた。

⑦ 期間中の最高，最低の平均気温は夏25.1℃，秋17.4℃，春13.6℃，冬5.3℃であった。

豚の分娩時期別繁殖育成成績 (1腹当たり，ランドレース種)

季 別	項 目	腹数	分娩子豚頭数	生産子豚頭数	哺育開始頭数	3週齢育成頭数	育成率	3週齢子豚総体重	総体重評点	発育の斉度	発育の斉度評点	1頭平均体重	得 点
春	(3, 4, 5月分娩)	182	11.20	11.05	10.70	10.18	95.11	60.65	5.99	0.65	2.69	6.01	8.68
夏	(6, 7, 8月 " )	178	11.30	11.11	10.65	10.04	94.26	56.91	5.51	0.62	2.80	5.69	8.30
秋	(9, 10, 11月 " )	148	11.28	11.02	10.55	10.01	94.33	58.86	5.65	0.66	2.70	6.01	8.34
冬	(1, 2, 3月 " )	222	11.45	11.23	10.69	10.39	96.44	60.96	6.04	0.65	2.70	5.93	8.74
平 均	( 計 )	730	11.32	11.11	10.65	10.17	95.15	59.47	5.82	0.65	2.72	5.91	8.54

N. S N. S N. S \* N. S \*\* \*\* N. S N. S \*\* \*

Duncan 多重検定 (5%水準，有意でない区間をアンダーラインで結ぶ)

3週齢育成頭数				3週齢子豚総体重				総 体 重 評 点				1頭平均体重				得 点			
秋	夏	春	冬	夏	秋	春	冬	夏	秋	春	冬	夏	冬	秋	春	夏	秋	春	冬
<u>秋</u>	<u>夏</u>	<u>春</u>	<u>冬</u>	<u>夏</u>	<u>秋</u>	<u>春</u>	<u>冬</u>	<u>夏</u>	<u>秋</u>	<u>春</u>	<u>冬</u>	<u>夏</u>	<u>冬</u>	<u>秋</u>	<u>春</u>	<u>夏</u>	<u>秋</u>	<u>春</u>	<u>冬</u>